



未来のために、世界とともに。



防衛装備庁

防衛装備庁

長官官房人事官付採用担当  
〒162-8870 東京都新宿区市谷本村町5番1号  
TEL03-3268-3111 内線番号35168  
[https://www.mod.go.jp/atla/saiyou\\_gyosei/](https://www.mod.go.jp/atla/saiyou_gyosei/)



詳細情報はこちら

防衛装備庁  
行政職採用案内



# 未来のために、世界とともに。

防衛装備庁は、我が国の平和と安全を守る自衛隊の活動に欠かせない車両、航空機、艦船、迷彩服や燃料といった防衛装備品に関わる業務を担っています。

在籍する事務官は約900名。部署を越えてお互いに協働しながら安全保障や防衛力の計画、予算編成、政策の企画・立案、国際協力の調整、防衛装備品の調達など様々な業務を通じて日本の安全と平和を守っています。

さらに我が国の安全保障を維持するためには同盟国・同志国などとの国際協力が不可欠です。そのため海外諸国との交渉や調整などグローバルな業務に携われるのも防衛装備庁ならではの魅力です。

さあ、未来のために、世界とともに。あなたの情熱が国民の安全と安心を守る大きな力となります。

## 防衛装備庁 行政職の役割

**防衛装備庁は、自衛隊の運用に必要な戦車や護衛艦、迷彩服、燃料といった「防衛装備品」に関わる行政を担っています。**

自然災害の発生増加や、日本を取り巻く世界情勢の厳しさが増す中、自衛隊の活動が一層重視されています。その活動をサポートするのが、防衛装備庁の職員です。安全保障や防衛力の計画、予算の編成、政策の企画・立案、国際協力の調整、防衛装備品の調達等。こうした防衛装備品に関わる様々な業務を通じて、日本の安全と平和を守る役割を担っています。社会的意義を強く感じられるスケールの大きな業務に携わることができます。

## CONTENTS

防衛装備庁 行政職の役割	1
防衛装備庁まるわかり!	3
組織と所在地	5
部門紹介	6
職員紹介 [長官官房]	7
職員紹介 [装備政策部]	8
職員紹介 [プロジェクト管理部]	9
職員紹介 [技術戦略部]	10
職員紹介 [調達管理部]	11
職員紹介 [調達事業部]	12
職員紹介 [航空装備研究所]	13
職員紹介 [艦艇装備研究所]	14
職員紹介 [防衛イノベーション科学技術研究所]	15
職員紹介 [国際業務 (次期戦闘機担当)]	16
職員紹介 [国際業務 (FMS担当)]	17
職員紹介 [国際業務 (装備移転)]	18
海外事務所	19
海外派遣職員	20
防衛装備庁の働く環境	21
キャリアストーリー	23
職員から見た防衛装備庁	25
教育・研修制度	27
先輩職員からの就活アドバイス	29
採用情報	30

Quick Guide

# 防衛装備庁

# まるわかり!

## 組織と行政職の役割について

## 働く環境と採用情報について



01

### 「防衛装備品」で日本の安全保障を支える

国民の生命や財産、国の領土・領空・領海を守り続けているのが自衛隊です。そんな自衛隊の活動に欠かせない「防衛装備品」に関する行政を担っているのが防衛装備庁の行政職です。自衛隊の活動を支えるために行政職は幅広い業務を担っており、そのどれもが我が国の安全と平和を守るために欠かせない重要な仕事です。また、防衛装備庁には様々な部門があり、業務内容の幅広さから文系・理系を問わず、学んだ知識やスキルを活かせる環境です。



04

### 約1,000名の事務官が活躍

装備政策の企画・立案、防衛装備品等の調達に関する制度および政策の企画立案、調達実務等の業務に携わっています。



02

### 中央調達実績は約5.8兆円

防衛装備庁では自衛隊で使用する艦船、航空機、車両などの主要な装備品等の調達を一元的に実施しています。

※2024年度実績



03

### 幅広い防衛装備品の数々

航空機、護衛艦や潜水艦、戦車、車両、ミサイル、弾薬、通信・情報システム、さらに迷彩服、燃料、一部の食糧なども防衛装備品です。



05

### 自衛隊の第一線の活動をサポート

自衛隊の任務遂行に必要な弾薬や燃料、食糧などの適正価格での調達や、防衛装備品の維持・整備に欠かせない役務を契約するのも防衛装備庁の役割です。また、先進的・革新的な先端技術を装備品に活用することで「技術的優越」を維持・発展させるのも防衛装備庁の重要な任務の一つです。各研究所では様々な研究開発を行っており、それらの研究開発に必要な物品や役務の調達、防衛産業に携わる民間企業や研究機関との契約なども行政職の業務です。



01

### 国家公務員採用一般職試験または防衛省専門職員採用試験合格者が採用対象

防衛装備庁の行政職になるためには、人事院の実施する国家公務員採用試験に合格された方の中から官庁訪問を通じて採用を行っています。なお、一般職試験は「大卒程度試験」と「高卒者試験」に分かれています。ほかに防衛専門職員採用試験も実施されています。※詳細はP30を参照ください。



※詳細はP30を参照ください

02

### 大卒程度試験及び専門職試験合格者の採用時の配属先は中央機関(市ヶ谷)が中心

大卒者は採用後に中央機関(市ヶ谷)に配属され、異動は主に東京・神奈川となります。(関東甲信越ブロック以外の採用者を除く。)

※詳細はP22を参照ください

03

### 高卒者の採用時の配属先は関東甲信越ブロック内の勤務地が中心

高卒者は採用後に本庁や研究所等に配属され、転勤は主に採用地方ブロック内が基本となります。

※詳細はP22を参照ください

04

### 大卒初任給は287,600円

採用時の給与は採用される職務・経験・勤務等によって異なります。

※詳細はP30を参照ください



05

### グローバルな業務が多く海外派遣員として活躍する道も

防衛装備庁では同盟国・同志国などとの協力関係を強化・拡大し、相互補完的な国際共同研究開発を推進しています。イギリス・イタリアと共同開発を行っている次期戦闘機プロジェクトや、オーストラリアとの間で進めている次期汎用フリゲート艦の防衛移転プロジェクトなどグローバルな業務において多くの行政職が携わっています。

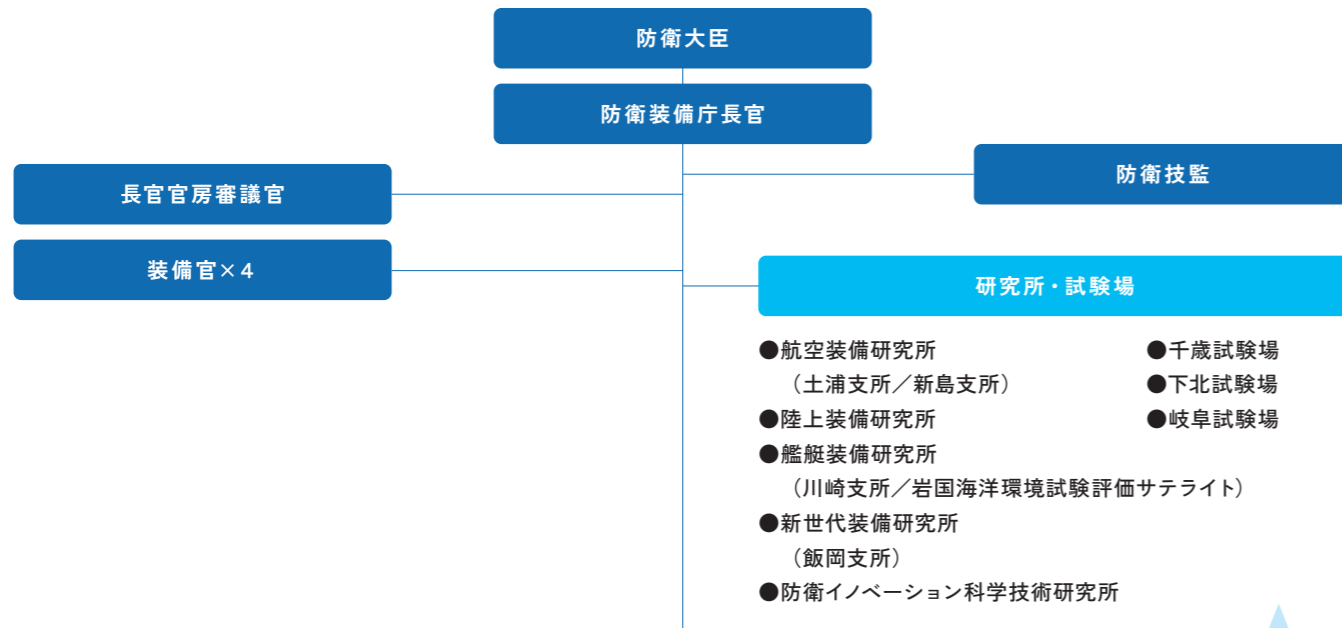
06

### 充実している育児支援制度

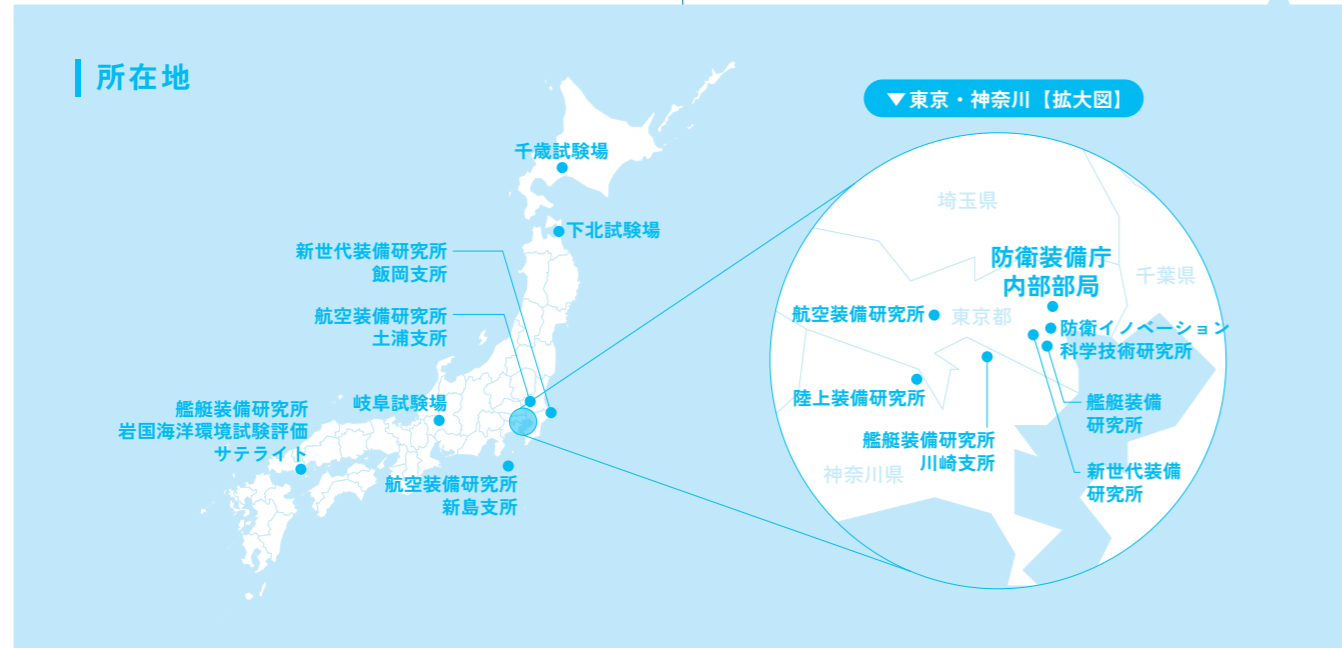
育児や介護などライフスタイルに合わせた柔軟な働き方ができるよう各種福利厚生制度が充実しています。



# 防衛装備庁の組織



## 所在地



## Internal Departments

### 内部部局

#### 長官官房

組織運営に関する管理・統括を担う中枢部署。

職員の人事、庁内事務の総合調整、広報など組織の円滑な運営を支えるための業務を担います。装備開発官は装備品等（船舶を除く）の考察及び試作に関する業務を担い、艦船設計官は船舶の考察及び設計に関する事務をつかさどります。

#### 装備政策部

装備政策全般を企画立案する装備行政の司令塔。

装備品等の開発・調達・管理に関する基本方針や制度・政策の企画立案を担い、防衛産業の基盤強化、装備品等の海外移転、国際協力の推進等を行います。

#### プロジェクト管理部

主要装備品等に関する事業プロジェクトを管理する。

装備品等の取得・運用・維持整備・廃棄までのライフサイクル全体を管理し、関係機関と調整しながら最適な装備品等の取得を実現します。

#### 技術戦略部

装備品等の研究開発に関する政策や制度を企画立案する。

装備品等に必要となる将来技術を見据え、研究開発の重点分野や方針を策定し、関係省庁や大学・企業と連携するなど技術投資を統括します。

#### 調達管理部

装備品等を調達するための制度や政策を企画立案する。

様々な装備品等を調達するため、入札や契約、予定価格の算定、監督検査や品質管理に関する制度・政策の企画立案や基準の設定などを行います。

#### 調達事業部

自衛隊の活動や研究開発に必要な装備品等や役務等を調達する。

調達実務を担当する部署として調達に関する仕様書の作成、予定価格の作成、企業等との契約締結、契約履行の管理等、中央調達における調達業務全般を担います。

## Facilities and other institutions

### 施設等機関

#### 研究所

- 航空装備研究所
- 航空装備研究所 土浦支所
- 航空装備研究所 新潟支所
- 陸上装備研究所
- 艦艇装備研究所
- 艦艇装備研究所 川崎支所
- 艦艇装備研究所 岩国海洋環境試験評価サテライト
- 新世代装備研究所
- 新世代装備研究所 飯岡支所
- 防衛イノベーション科学技術研究所

先進的・革新的な研究開発を推進する。

各研究所ではそれぞれの専門領域ごとに先進技術の調査から技術リスクの解決、試験評価等を進めています。

#### 試験場

- 千歳試験場
- 下北試験場
- 岐阜試験場

研究開発中の装備品等について試験や評価を行う。

各試験場において大規模な試験等を安全かつ効率的に実施し、その試験データを正確に評価します。

## 装備政策部



装備品の研究開発や新たな装備品の調達政策、防衛生産・技術基盤の強化など、今後の装備政策はどうあるべきかといった未来志向の仕事に携われるのが装備政策部の魅力です。また、組織全体の動きが把握でき、防衛装備庁内に限らず本省の内部部局や各幕僚監部、さらには他省庁など多様な部署と関われるのも魅力の一つです。

### Profile

装備政策部 装備政策課  
2021年入庁

## 防衛生産・技術基盤の強靱化を通して 防衛省・自衛隊の任務遂行を着実に支える。

### 防衛装備品に関する 政策全般の取りまとめ役。

装備政策部は、防衛生産・技術基盤の強靱化や諸外国との防衛装備・技術協力などの装備政策全般の企画立案を所掌しています。その中で私は、庁全体の予算編成に関する業務や外国旅費の執行管理に関する業務、装備品の取得に関する審議を行う委員会の運営などを担当しています。特に委員会では装備庁長官に加えて副大臣や各幕僚長などが出席し、プロジェクト管理対象装備品の選定や艦艇の基本計画案、装備品の部隊使用承認、装備品の早期量産着手といった重要な案件について審議しており、日本の防衛に欠かせない防衛装備品の政策に関われることに大きな誇りを感じています。

### 多様な部署と調整し、 より良い方策を追求する。

防衛装備庁だけでも事務官・技官・自衛官と多様なバックグラウンドや経験を持つ職員がおり、異なる価値観がぶつかることもあります。そのため、我々がうまく「クッション」となることで各部署が円滑に協力しあう体制づくりは重要だと認識しています。激変する安全保障環境において日本を守り抜くために防衛力の抜本的強化は待たなしの課題です。担当している一つ一つの業務は地味で目に見える形として成果が分かることはなかなかありませんが、一つ一つ着実に遂行することが日本の防衛に寄与するという想いで日々邁進しています。そして今後もより深く防衛装備行政に貢献できる人材になりたいです。



## 長官官房

### Profile

長官官房総務官付  
2024年入庁



総務官付は組織内の様々な物事について総合調整を行う部署です。防衛装備庁の業務を俯瞰的に見ることができ、より大局的な見地から携わることが多くあります。同時に、総務官付は組織の基盤を支え続けるための継続的で安定的な業務が多く存在します。こうした日々の着実な積み重ねを大切にしながら、一方で総合調整では前例のないことに取り組むケースも多々あり、様々なニーズや考え方を汲み取りながら業務を実現していく大変面白い仕事です。

## 防衛装備庁の役割や業務について 多様な手段で発信する。

### 公式SNSやウェブサイト 対外的に発信。

防衛装備庁という組織が、具体的にどのような役割を担っているのか、イメージがわからないという方も多かもしれません。そこで多くの人に防衛装備庁を知ってもらうために装備庁SNSやウェブサイトで情報を発信するとともに、報道機関等を含む外部からの問い合わせに対応するのが主な業務です。SNSを通じて多くの方が当庁に関心を寄せてくださっていることは、我々にとって大きな活力となっています。また、メディアの反応から世論を直に捉える経験は、社会における自らの役割を再認識する貴重な機会となっております。一方で、広報担当として自分が伝える内容は防衛装備庁の公式な見解として扱われるため、誤った情報を提供しないよう注意しています。



### いつでも相談できる 関係性を築いていく。

防衛産業政策や次期戦闘機をはじめとする装備品など報道機関からの問い合わせは多岐にわたり、メディアと装備庁内の担当部署との橋渡し役となることが私の役割です。防衛省・自衛隊という巨大なフィールドでは、一つの課題に対しても多様な部署が関わってくることが多いです。巨大な組織ゆえに情報の所在が複雑な場面もありますが、日ごろから各課が担当する業務を正確に把握し、周囲の方々とコミュニケーションを重ねることで、さらに良い関係を築くことがより円滑な業務遂行の鍵となります。公務員の仕事は一人では完結するものではなく、多くの方と協力し合いながら成し遂げられます。現在の業務を通じて、将来的には多様な防衛装備行政に取り組んでいきたいです。





技術計画官付は各装備研究所の管理運営も所掌しているので、高官視察の随行等で実際に研究所を訪れる機会もあります。研究に関する専門的な内容を聞き、さらに研究開発の最先端施設を見学する等、実際に業務で携わっているものに触れることで、日々の業務に対する責務をさらに実感することができます。



Profile
技術戦略部 技術計画官付 2025年入庁

## 技術戦略部

## 組織内外の様々な依頼に対応し 装備品の研究開発を支える。

### 省内の研究開発を 取りまとめる総括業務。

技術計画官付は、装備品の研究開発を行うための業務企画の作成や予算要求、研究開発関連規則の整備、研究開発事業の評価等を行っています。私は部署内の総括業務を担当しており、庶務業務をはじめ国会に関わる業務や報道機関からの取材等、様々な問い合わせの調整にも対応しています。日々多様な依頼が殺到しますので、優先順位を付けながら各業務を正確かつ迅速に遂行するよう務めています。その中では、技術的専門性の高い調整業務へも周囲のサポートを得ながら取り組んでおり、行政職では関わらない分野の案件にも携わることで、新たな知識を得られるのが業務の魅力です。

### 調整業務に必要な コミュニケーション力。

日々の業務では壁にぶつかることも多く、一人で考えていても解決策が見つからない時や行き詰まった時は周囲の先輩方に相談するようにしています。物事を整理することで頭がクリアになり、また、問題を共有することで現状の情報共有にもつながります。総括業務は直接的に国民や社会と結びつかないように思われるかもしれませんが、それが研究開発を通じて、最先端の装備品となり、国民の安心・安全へとつながると考えるとやりがいを感じることができます。今後は事務官の先輩方が担当している業務についても積極的に学び、より幅広い業務を行えるようになりたいです。



## プロジェクト管理部



## 防衛装備品の維持・整備を通して 自衛隊の任務遂行を後方から支える。

### 現場の声を把握しながら 各機関と調整する。

戦闘機や艦船、各種レーダーなど、国防の任務に不可欠な装備品等の可動状態を維持するためには整備が欠かせません。これらの維持整備に関する政策の企画立案や必要となる予算編成に関する業務を担当しています。維持整備は多くの費用や時間がかかる分野であり、ボトルネックの箇所を把握して対策を検討し、効率化や新しい仕組みを導入することで大きな効果を生み出せる点にやりがいを感じています。また、制度や予算の制約を踏まえつつ、現場で活動する陸・海・空自衛隊員の声に応えられるように日々関係部署と調整しながら業務を進めています。

### 国の安全保障に 直結している仕事。

担当している維持整備に関する政策の企画立案や予算編成は、部隊の即応性確保や防衛力を維持するうえで欠かせない業務であり、自衛隊の運用にも大きな影響を与えます。万が一、業務が滞ると国民の信頼を損なうことにもつながるため、責任感を持って日々の業務に取り組んでいます。さらに安全保障に関する情勢は日々変化していることから防衛政策などの知識を常にアップデートし、昨日の自分よりも成長することを大切にしています。将来的に装備品の維持整備関連の契約業務にも挑戦し、幅広い分野で経験を積みたいと思います。



Profile
プロジェクト管理部 事業計画官付 2017年入庁



担当する業務では、装備庁内だけでなく各幕僚監部や防衛産業の方々と調整する機会が多くあります。現場における維持整備についての話を聞く機会もたくさんあり、それらを参考にしながら仕組みを考えることにやりがいを感じています。



# 調達管理部



## 5兆円を超える装備品調達の 予算執行を管理する。

### 国民への 説明責任を果たす。

調達管理部は、防衛装備品等の調達に係る制度や政策の企画立案やこれらの防衛予算に関する執行管理を行っており、私は国会や報道機関への対応を中心に課内の総合調整を担当しています。例えば国会対応業務であれば、議員から提出された質問の意図に沿いつつ国民の理解を得られるよう資料や答弁書を作り上げていきます。答弁書の内容確認はもちろん、誤字脱字や体裁の誤りなどわずかなミスも見逃さないよう慎重かつ丁寧な仕事を心がけています。また、業務では省内の様々な部署との調整が必要なことから、所属する課はもちろん、関係する課を含めた業務知識を身につけるようにしています。



### 長期的な視点で 防衛産業の事業基盤を築く。

防衛装備品等の調達には国の予算が投入されていることから適正な価格で調達が行われるよう査定を行うのは当然です。一方で、艦艇や航空機といった製造に期間を要する装備品は受注後の物価や人件費の上昇に追いつかず、企業自らの利益を削るといったケースもあります。今後どのようにして防衛産業の魅力を高め、持続可能性を確保するかが当面の課題であり、そのための制度や政策の企画立案が求められています。このような新たな取り組みに携わるとともに、調達職員として会計法をはじめとする契約制度に関する様々な知識を身につけ、今後も政策面から調達業務に貢献していきたいです。



Profile

調達管理部 調達企画課

2022年入庁

Column

担当部署や  
業務の魅力は？

防衛力の抜本的強化の実現に向けて、5兆円を超える巨額の装備品調達が適正に行われているか管理するのが調達管理部です。防衛産業に携わる国内企業が持続可能性を確保するための契約制度の検討など、新たな取組の検討に若手職員も参画できるのが魅力です。

# 部隊運用に欠かせない燃料の 予定価格を設定して調達する。

### 自衛隊からの調達要求に 基づき契約を締結。

自衛隊の任務遂行に必要な防衛装備品について、予定価格の算定、契約締結、契約履行の管理などを行うのが調達事業部です。私は全国の自衛隊基地で使用されるガソリン、軽油、灯油、重油、航空機燃料などの調達を担当しています。期日までに燃料種別ごとに市場価格を詳細に調査し、入札に必要な予定価格を設定します。燃料は他の調達品と比べて件数が圧倒的に多く、短期間で正確な計算が求められますが、その分、入札で落札できた際には大きな達成感があります。自らの業務が自衛隊の運用に直結しているという誇りを日々感じています。



### 影響を見極める 探求心を持ち続ける。

燃料は日々価格が変動するため、国内外の情勢、国の政策、為替の動きなどを新聞やインターネットで常に把握し、それらが燃料価格にどのような影響を及ぼすのかを予測したうえで、上司と意見交換を行っています。また、入札にあたっては燃料価格だけでなく、部隊への輸送コストも必要となるため、物流に関する動向にも日頃からアンテナを張っています。燃料は部隊運営に欠かせないものであり、その調達は極めて重要な役割です。正確かつ確実に調達できるように責任感を持って業務に取り組むとともに、今後は原価計算の知識をさらに深め、航空機や艦船といったスケールの大きな調達にも挑戦したいと考えています。



# 調達事業部

Column

担当部署や  
業務の魅力は？

装備品の調達業務に携わるため、陸海空の各自衛隊で運用されている装備品の知識が身につきます。また、日頃から新聞やインターネットを通じて国内外の情勢、政策を把握するようにしているため、業務を通じて様々な情報をリアルに知ることができるのも魅力です。

Profile

調達事業部 需品調達官付

2019年入庁



契約業務は研究を円滑に進めるための重要な役割を担っています。契約業務の過程で研究施設や試験器材に関する新たな知識を身に付けたり、普段目にするのできない試験器材等を間近で見ることができます。

Profile

艦艇装備研究所  
総務課

2024年入庁

## 艦艇装備研究所

## 試験等で必要な物品や役務を契約し、行政面から研究開発を支援する。

**契約条項を策定し  
調達先と契約を結ぶ。**

研究所で行われる試験等に必要物品の調達や研究施設、試験器材の点検・整備、修理の依頼といった役務の契約業務を担当しています。全ての調達案件において契約の基準額となる予定価格を算定し、各案件の内容に沿った契約方法で契約を結びます。その中にはオープンカウンター方式と呼ばれる、事業者から見積もりを募り、最低価格の見積書を提出した者と契約を結ぶ、公募型見積もり合わせの形をとった契約方式があります。調達物品や役務の内容は多岐にわたり、中には早急に調達や修理を求められるものもあるので常に優先順位を確認しながら期限管理に努めています。

**数字を取り扱う  
責任重大な仕事。**

要求元から「おかげで無事に試験を終えることができた」など感謝されるのがこの業務のやりがいです。一方で、企業や業界によって見積書に記載している表記が異なっていたり、会社独自の略語や専門用語なども表示されていたりすることから提出された見積書の内容を精査するのは大変です。仕様書と見比べながら内容を読み解き、それでも分からない際は企業や技官の方にヒアリングしながら内容に齟齬がないか一つ一つ確認するようにしています。今後は契約に関する知識をさらに深め、自信を持って会計業務に臨めるようになるのが目標です。



## 航空装備研究所



## 航空装備の研究開発を一般向けに広報し、研究開発の重要性を世の中に発信する。

**研究所見学や研修  
プログラムの運営を担当。**

研究所の職場環境を維持するために必要な物品の購入や、研究所内の清掃など役務の実施に対する調達要求業務をはじめ、学生や民間企業の方々を対象とした見学会の運営や、新人技官の研修プログラムの策定や調整などを担当しています。研究所の見学は毎月のように実施しており、学校機関であれば高校生から大学生、また、民間企業であれば航空機メーカーやエンジン関連企業の技術者の方々が当研究所を訪れています。事前に来訪される方々の要望を把握し、最大限応えるためにどのような内容にするかなど技官の方々に協力してもらいながらスケジュール調整等を行っています。

**一般の方に研究開発について興味を持ってもらう。**

研究所内で行っている研究内容を様々な方に正確かつわかりやすく伝えることで、国防の重要性や、そのための研究開発の重要性などについて理解を得られるのが魅力です。特にAIを活用した無人機や極超音速誘導弾など航空装備研究所内でもホットな話題に興味を示してくれる方も多く、高度な質問をされるケースもあるなどそれだけ関心を持ってもらえるのはとてもうれしく感じます。現在の業務を通じて、相手の方がどんなことを知りたいか事前に聞き出す力や対外調整能力はとても重要だと感じており、今後もコミュニケーション力を大切にしながら広報業務に務めていきたいです。



Profile

航空装備研究所  
管理部 総務課

2024年入庁



広報業務を担当していると研究開発をとて身近に感じられ、それを発信する立場にいられるのが面白いです。このような見学会を通じて一人でも多くの人に国防の重要性を知ってもらい、国を守るといった大きな使命の一助になっているという誇りを感じられます。



海外出張の機会があるなどグローバルな仕事に携わることができます。また、民間経験者や自衛官など多様なバックグラウンドを持つ同僚と働けることや、装備品の開発段階に深く関与できるのも魅力です。装備品や防衛技術に興味がある方におすすめです。

Profile

プロジェクト管理部  
事業監理官  
(次期戦闘機担当) 付

2022年入庁

国際業務  
(次期戦闘機担当)

## 各国との交渉や調整の最前線に立ち 国際的な大規模プロジェクトに携わる。

国際的な注目度の高さを  
肌で感じられる。

日本・英国・イタリアの3カ国による次期戦闘機の共同開発プロジェクト（GCAP）に携わっています。私の主な役割は3カ国間で行われる国際協議の調整で、会議資料の作成や議事録の取りまとめなど円滑な協議運営を支える業務を担当しています。前例のない大規模プロジェクトに現役職員として関わるのが最大の魅力ですが、言語や文化の異なる関係者が集うことから、小さな齟齬が大きな問題に発展する可能性があり、細部まで丁寧に確認しながら進める必要があります。次期戦闘機の開発は、私の所属する部署が主体となって交渉しているため、各国との交渉や調整の最前線に立てるのは他では得られない貴重な経験になっています。

ヨーロッパ諸国との  
信頼関係構築を目指して。

業務には「サブ」と「ロジ」の両面があります。例えば、会議で何を議論するかを決めるのがサブで、会議室や日時を調整するのがロジです。どちらかが欠けると会議は成立しないため、両方をバランスよく遂行することを常に意識しています。ヨーロッパ諸国との協力は、技術面だけでなく国際的な信頼関係の構築という面でも大きな意義があります。協議が滞りなく完了した際には国際協力を支える一員として貢献できたという達成感と使命感を強く感じます。



## 防衛イノベーション 科学技術研究所



Profile

防衛イノベーション  
科学技術研究所  
総務・会計ユニット

2025年入庁



私の担当している業務は全国の委託研究先に出向いて調査を行うため、様々な地域に出張して見聞を広げることができるのも魅力です。また、防衛イノベーション科学技術研究所は恵比寿ガーデンプレイスに所在していることから、防衛省の施設や自衛隊の駐屯地・基地とは雰囲気異なる開放的なオフィスで働くことができます。

## 新たな研究開発を生み出すための ファンディング制度\*の一端を担う。

\*安全保障技術研究推進制度

委託研究費が適切に  
使用されているか調査。

防衛イノベーション科学技術研究所は、様々な科学技術の探索や従来の常識を覆すブレイクスルーへの挑戦、科学技術の迅速な活用など、社会を大きく変える防衛イノベーションの創出を目的として2024年10月に創設されました。私は、安全保障技術研究推進制度（防衛省ファンディング）に関する経費業務を担当しており、防衛省が設定したテーマに沿って委託研究費が基礎研究を委託された企業や研究機関において適切に執行されているか確定調査する業務を行っています。また、新規採択課題に伴う契約や採択課題に関する変更契約等締結に向けた経費算定の業務も担当しています。



研究機関に直接出向いて、  
適正性を審査する。

委託研究先の企業や研究機関は、北は北海道から南は九州まで全国にまたがっていますが、各委託研究先に直接出向いて契約書や経理関係の帳簿類、物品の購入履歴などが記載された書類を確認するとともに、事務担当者や研究者の方にヒアリングを行います。新たな技術の開発は未来の日本が更に発展するために必要なことであり、基礎研究を進めることでこれまでにない技術を生み出す取り組みの一端を担えることを誇らしく感じます。一方で、委託研究費は国の予算が投入されているため確定調査はとても責任重大な業務であり、決して無駄な支出の発生や不適切な執行が行われることのないよう日々必要な知識の習得に励んでいます。



## フリゲート艦の共同開発において 国内技術の知的財産権を保護する。

庁内のあらゆる法務業務を  
取り扱う仕事。

長官官房総務官付法務班を本属とし、併任として豪州次期汎用フリゲート移転推進室に所属しています。法務班では、本庁が関わる訴訟の対応や各部署の法律相談対応などを行っており、各部署の法的な困りごとについて解決策を模索するのは自らの勉強にもつながります。2020年から3年間法務省訟務局に出向して国の民事訴訟を担当しましたが、その時に得た知識や経験を活かしながら業務にあたっています。また、豪州次期汎用フリゲート移転推進室では、豪州との間で進めているフリゲート艦の装備品移転において、技術に関する日本の知的財産権の保護を目的に豪州との間で協議を進めています。

我々の仕事が  
未来のスタンダードになる。

艦船の装備移転はこれまでになく庁内においても前例のないことなので正解がなく手探りで進めていかなければなりません。国際的な安全保障環境の新たな一歩を踏み出すという先駆的な意義があります。また、国際協力を進める一方で国益はしっかりと確保しつつ、今後の模範となる国際協力の枠組みを構築していくことが最大の使命です。私自身国際協力や知的財産権の業務に初めて携わりましたが、庁内において今後とても重要な要素になってくるはず。再びこのような業務に携わった際に力を発揮できるよう今経験していることをしっかりと吸収して次につなげたいと考えています。



国際業務  
(装備移転)



豪フリゲート移転業務は今まさにニュース等にも取り上げられている案件であり、自らの業務が、そのまま我が国の方針に直結します。またオンラインでの協議だけではなく、自ら海外出張してオーストラリアを訪問し、相手国の担当者と直接やり取りすることも多く刺激的な毎日を送っています。

Profile

長官官房総務官付法務班  
併任  
プロジェクト管理部  
事業監理官(艦船担当) 付  
2016年入庁

国際業務  
(FMS担当)



## 米国政府との間で結んだ契約について 問題点を解消し精算手続きを進める。

米国から提供される装備品や  
技術支援に係る精算業務。

有償援助調達に関わる仕事を行う部署で、主に米海軍省との契約に係る精算業務を担当しています。有償援助調達(FMS)とは日米相互防衛援助協定に基づき米国の防衛装備品や役務を有償で調達する制度のことで、米国の規則に基づき前払いで支払います。私は日本に到着した物品の出荷証書と米国から届く請求書の内容を照合し、日本から支払われたお金が正しく使われているかチェックし、何か矛盾点や疑問点があれば米国側に問い合わせするなど問題点を解消するよう努めています。結果的に問題が解消され、無事に精算手続きに進められるようになった時には大きな達成感が得られます。

未精算額を少しでも  
減らすことが使命。

時には何か月・何年という時間をかける手続きもあり、多くの問い合わせ事項について同時進行するため、マルチタスク能力が求められます。また、お金に関わる業務であるため、より丁寧に仕事を行い、疑問点があればすぐに上司に聞いてその場で解決し、ミスなどが起こらないよう心がけています。調達に係るお金は国の予算が投入されていることから少しでも未精算額を減らすのが私の使命です。今後は様々な部署を経験しながら多角的な視点や柔軟に物事を判断できる能力を磨き、将来的には米国事務所で勤務をしてみたいです。



Profile

調達事業部  
輸入調達官付  
2025年入庁

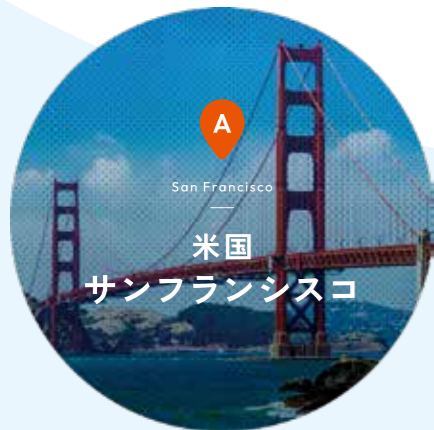
Column

担当部署や  
業務の魅力は？

イージス艦やF-35戦闘機、オスプレイといった一度は聞いたことのある装備品に関わる仕事ができるので、大きな規模感の中でやりがいを持つことができます。また、相手が米国政府となるので書類やメール等で毎日英語に触れるなどグローバルな仕事ができます。

## 防衛装備庁と海外をつなぐ窓口

装備品の海外調達に関する交渉や契約、輸入手続きをはじめ、国際共同開発の推進、情報収集、関係国との調整など海外事務所では装備品における様々な業務を担っています。相手方は海外の商社、製造会社、政府など多岐にわたり防衛装備庁の各部署と調整を図りながら現地での任務を遂行します。日々の会話や契約書類等の確認等はすべて英語となりますが、グローバルビジネスの最前線に立てるなど貴重な経験が得られます。



**GIGO**  
GCAP International Government Organisation

国際機関GIGOは、2035年までに次期戦闘機の共同開発を実現するため、日英伊3か国で効率的な協業体制の構築を目指して設立されました。



Profile

調達管理部  
調達企画課

2020年入庁

日本と米国の橋渡し役として、日米同盟のさらなる連携に貢献する。

### 米国からの装備品調達の現場に立つ仕事。

防衛省・自衛隊は、米国からの調達である有償援助調達 (FMS) と米国製造企業からの調達である一般輸入調達を通じて、米国から防衛装備品等を調達しています。現在、ワシントンD.C.事務所、自衛隊の活動に必要な航空機やミサイル等の大型装備品の円滑な調達および納入のため、米国政府職員等との調整業務に従事しています。米国機関との調整のみならず会議の運営、通訳支援、事務所管理に関する業務まで、若手職員のうちから幅広い業務を経験できます。異なる言語環境において、どのような表現で相手に伝えるか悩むことも多いですが、それも国際業務ならではの面白さだと感じています。

### お互いの考えを正しく理解してもらえるように。

同じ内容でも表現によって相手が受け取る印象が異なることは多々あります。英語でのコミュニケーションは母国語ではない分、より一層自分の意図が相手にしっかりと伝わるような表現を心がけています。また、海外事務所は限られた人員で、米国機関との調整から来客対応や事務所の管理まで様々な業務をこなさなければなりません。一人で仕事を抱え込まず、上司・先輩方の協力を得ながら効率よく業務を進めていくことが本当に重要だと実感しています。装備品調達における調整を現場で経験できたことから、今後はより具体的な調達実務に携わりたいと考えています。

### 海外派遣職員の一日

8:30	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	15:00	17:15
出勤、メールチェック	各種庶務業務の処理	事務所内ミーティング	米軍関係者とのミーティング	昼休憩	議事録作成	ミーティングの総括、関係者との各種調整	退庁、各種報告書を作成後、

### これまでのキャリア

- 2020年 入庁、装備政策部装備政策課
- 2021年 調達事業部 輸入調達官付
- 2023年 調達管理部 調達企画課 (海外派遣)

## 充実した福利厚生で、職員一人ひとりの業務と家庭生活との両立や健康をサポート。

育児や介護など様々なライフステージを経ても、長く働いていける環境を整えています。  
(掲載している制度は一例です)



### テレワーク

業務効率の向上、負担軽減及び両立支援を図るため、自宅勤務が可能な制度です。



### フレックスタイム制

勤務時間を5～22時の間で（コアタイムあり）変更ができる制度です。



### 育児休業

子が3歳に達するまで、子を養育するために認められる休業制度です。



### 子の介護等休暇

小学校3年生までの子を看護するために年間5日（場合により10日）の範囲内で休暇を取得できる制度です。



### 産前・産後休暇

出産予定日の前6週から産後8週までの期間、休暇を取得できる制度です。



### 配偶者の出産休暇

男性職員が妻の出産に伴う入退院の付き添い等を行うために2日間休暇を取得できる制度です。



### 育児短縮時間勤務

小学校就学前の子を養育するために、勤務時間を1日3時間55分（週19時間35分）等に短縮できる制度です。



### 育児時間

1日の勤務時間の一部（2時間まで）を小学校就学前の子の養育のために充てられる制度です。



### 育児参加のための休暇

男性職員が妻の産前産後期間中に出産に係る子または小学校就学前の子を養育するために5日間休暇を取得できる制度です。



### 介護休暇

配偶者、父母、子、配偶者の父母等の介護のため、6か月の期間内で必要と認められる期間、休暇を取得できる制度です。



### 早出遅出勤務

養育・育児または介護等のため始業・終業時刻の変更を認める制度です。



### 不妊治療休暇

不妊治療に係る通院等のため年間5日（場合により10日）の範囲内で休暇を取得できる制度です。

## Our Benefits at a Glance



Health Support  
健康サポート



Childcare Support  
豊富な  
育児支援制度



Work-Life Balance  
ワークライフ  
バランスの実現



### 保育園（市ヶ谷地区）

仕事と育児の両立を支援するため、防衛省敷地内に保育施設を併設しています。通勤時の送り迎えの負担を軽減し、万が一の際にもすぐに駆けつけることができる環境を整えることで、働く保護者の方々が安心して業務専念できる体制を整えています。



### 食堂（市ヶ谷地区）

充実した食事環境を整えた食堂には、人気のチェーン店である牛丼屋やカフェが入店。昼時にはキッチンカーの販売も行われ、美味しい食事を求める職員で活気に溢れています。豊富なメニューで毎日の食事を楽しむことができます。



### 部活動（市ヶ谷地区）

防衛省内には、和室や体育館が設けられており、居合道や茶道など様々な部活動が活動しております。業務とは関係ないところで思わぬつながりができたりします。



### 健康保険・医療制度（市ヶ谷地区）

職員とその家族を対象とした健康保険や各種検診の助成制度も充実しています。また、急な病気等にも対応できるよう医療施設を併設しています。

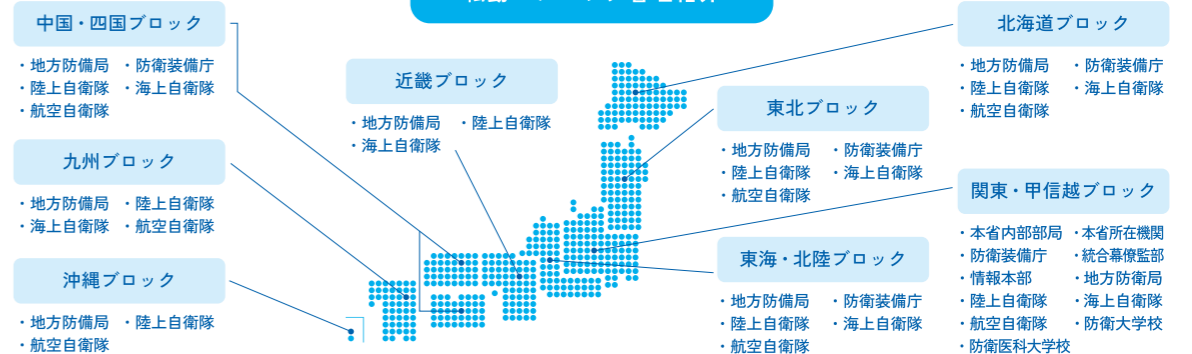
### 人事異動について

転居や単身赴任の負担を減らす取り組みとして、採用後は防衛装備庁本庁（市ヶ谷）又は採用地方ブロックでの人事管理となり、概ね2～3年のサイクルで人事異動があります。防衛装備庁の多くの施設等機関は首都圏に位置しておりますが、業務の幅を広げることを目的に、採用ブロックを超えた異動となる場合もあります。

### サポート体制

毎年異動に係る希望調査が行われ、意思を伝えることが可能です。転居を要する異動の場合、引っ越し費用の支給があります。また、福利厚生アウトソーシングでは引っ越しの一括見積もりや家具のレンタルができます。

### 転勤・ブロック管理紹介





Profile

調達事業部  
需品調達官付

2010年入庁

## 調達に関する専門性を高めながら 仕事と育児の両立を図る。

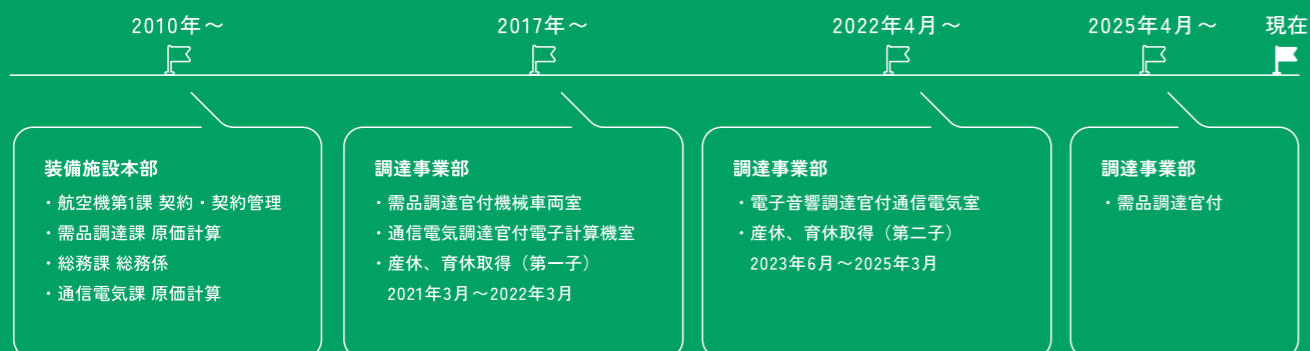
### 組織一体となって業務を遂行する風土を実感。

入庁1年目に装備施設本部・航空機第1課で、航空機の整備機材等の調達に関する契約業務を担当しました。その年度末に東日本大震災が発生し、その影響で翌年度は陸・海・空各自衛隊からの調達要求件数が増加、自身の業務量も倍増しましたが、上司や同僚に相談しながら進めることで、班内が一丸となって業務を遂行することの大切さを強く実感しました。その後は通信電気課で発動発電機や電源装置等の原価計算業務を担当し、防衛装備庁発足後は調達事業部において機械・車両、電子計算機等の調達に関する契約業務を担当するなど、幅広い分野での知識と経験を積むことができました。

### ライフステージに合わせた働き方を実践。

第一子の出産に伴い、1年間の産休・育休を取得。復帰後は育児時間を活用し、通常勤務より1時間短い勤務となったため、業務の計画をより余裕を持って立て、効率を重視した働き方へと意識が変わりました。また、子供の急な発熱などで突発的に休む場合でも周囲に負担がかからないよう進捗状況や資料を班内で常に共有することを心がけています。2023年には第二子の出産に伴い、再び約1年半の産休・育休を取得。復帰後は需品調達官付 原価計算専門官として、自衛隊の航空機や艦船で使用する燃料調達における原価計算業務を担当しています。育児中であっても責任ある業務を任せてもらえる環境があり、第一線で働けることに大きなやりがいとモチベーションを感じています。

## これまでのキャリア



Profile

調達管理部  
調達企画課 総括係長

2009年入庁

## 様々な業務を通じて調整力を高め、 全体を見渡す力を身につける。

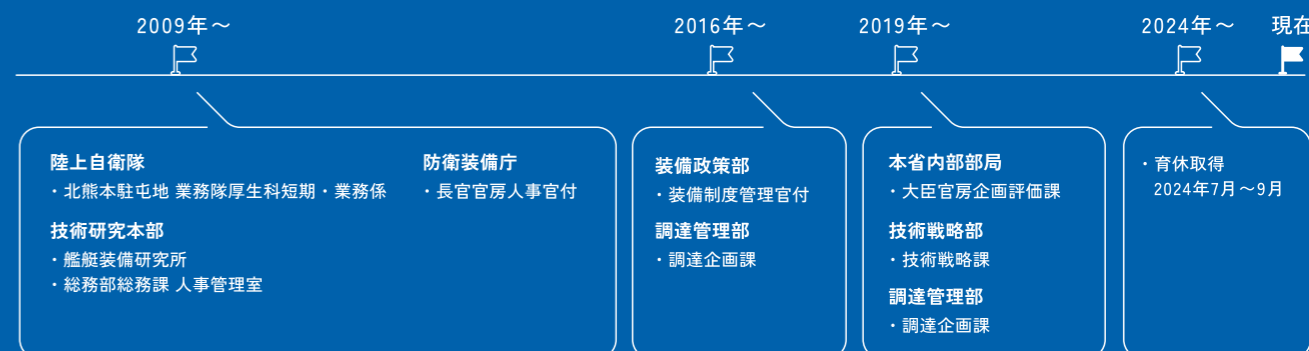
### 段取りと知識の蓄積を意識するようになる。

北熊本駐屯地と技術研究本部での経験を経て、2014年から人事管理室で給与厚生に関する業務や防衛装備庁設立における人事異動など組織改編に伴う業務に従事し、2016年からは装備政策部にて、総括係長として国会・報道関連業務を担当しました。対外説明は誤った情報を伝えることがないよう慎重な確認が必要であり、スピード感も求められます。高官や多数の対外説明を短時間で実施することとなった際は、移動時間などを考慮した説明時間調整を行うこともあり、非常に大変でした。時には急な説明時間の変更や方針の変更もあるので、関係する職員と密接にコミュニケーションを取りながら反映漏れがないように努めたことにより、特段の問題なく案件公表を迎えられると大きな達成感を得られました。

### 職員全員で協力しあう組織体制を構築。

2022年からは技術戦略部や調達管理部において総括係長を務めています。現在は主に防衛省内からの依頼や予算などの調整事項を取りまとめる庶務業務を行っており、各種意見に関する調達管理部内の取りまとめや調整を行い、期限内に回答するよう調整する役割を担っています。係長として職員の業務内容や業務量、優先順位をできる限り把握し、誰かに業務が偏ることがなく皆で協力できる体制づくりを心がけています。また、他課や課内の調整も多いため信頼関係を構築できるように上司や同僚、調整先と積極的にコミュニケーションを取ることを大切にしています。そしてテレワークの活用や仕事が忙しい場合でも「この日は早く帰宅する」という日を決めることによって、家事・育児にも参加するようにしています。

## これまでのキャリア



# 職員から見た防衛装備庁

防衛装備庁はどのような職場でどんな人が働いているか？若手職員の皆さんにアンケートを実施しました。ここでは、その一部をご紹介します。

## Q1 職場の雰囲気は？



- **和気あいあい**とした雰囲気の職場です。業務中も自然に声を掛け合える環境で、質問や相談がしやすく、コミュニケーションが活発です。
- 業務などで悩んでいることがあれば上司や同僚が相談に乗ってくれたり、皆で頑張っていることが実感できる**風通しのよい職場**です。
- 年次に関係なく**自分の意見を発言しやすく**一つの意見としてしっかり受け入れてくれます。
- 事務官や技官、自衛官、民間経験者など異なるバックグラウンドを持つ人たちが**協力し合っている環境**です。

## Q2 成長できる環境？



- 私自身、入庁前から英語能力を磨きたいと考えており、入庁後は通訳研修を受講させていただいて**英語を業務で利用**していくという意識が高まりました。
- 入庁時には、初任者研修を通して防衛装備庁や防衛省の**組織全体について学べます**。
- 本人の意欲次第で**幅広いキャリアパスが開けます**。
- 2年に一度程度異動があるため様々な部署を経験することで**知見を高められます**。

## Q3 入庁前後のギャップは？



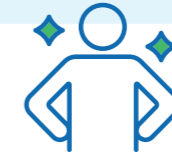
- **休暇の取りやすさ**です。思っていたより柔軟でワークライフバランスが充実していました。
- 公務員に対して堅いイメージがありましたが、入庁してみると業務の電子化を進める動きがあったり、業務を支えるAIが導入されたりと**業務の効率化**が図られているところにギャップを感じました。
- 自衛官も所属しているので堅苦しいイメージを持っていましたが、現実には**冗談が飛び交い笑いが起きている**時があったりと意外でした。
- **機関を超えた交流の多さ**です。組織の枠を超えて協力する場面が多く、防衛省という組織のスケールの大きさを実感しました。

## Q4 あなたの入庁動機は？



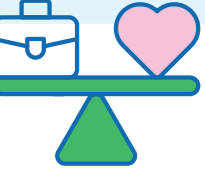
- ニュースで話題となっている装備移転や次期戦闘機など**国際的な業務の広がり**を見せている装備行政に挑戦してみたいと考えたからです。
- 幼い頃から**グローバルに活躍できる職業に就きたい**という思いを叶えたからです。
- 国防という**広く国民に関わる**政策に携われることに魅力を感じました。

## Q5 誇りを感じる瞬間は？



- 自分が関わった業務が報道された時は、**社会に貢献している実感**を得られます。
- 担当している政策も「将来」を見据えているなど**未来志向の省庁**です。
- 自衛隊の装備品に関わる仕事なので**成果が現物で実感できた時**です。
- 普段見ることのできない**研究施設や装備品**を間近に見た時に誇りを感じました。

## Q6 働きやすいと思う点は？



- 休暇は柔軟に取りやすく定時退庁も可能で、世間のイメージからすると意外で**ホワイトな職場**です。
- 休暇を取得しやすいので**仕事とプライベートが両立できる**環境です。
- **フレックスや時短勤務**を活用している職員も多く、柔軟な環境で仕事ができます。
- **ライフステージに合わせて働き方を選べ**仕事と子育てを両立しながら第一線で活躍する職員が多いです。

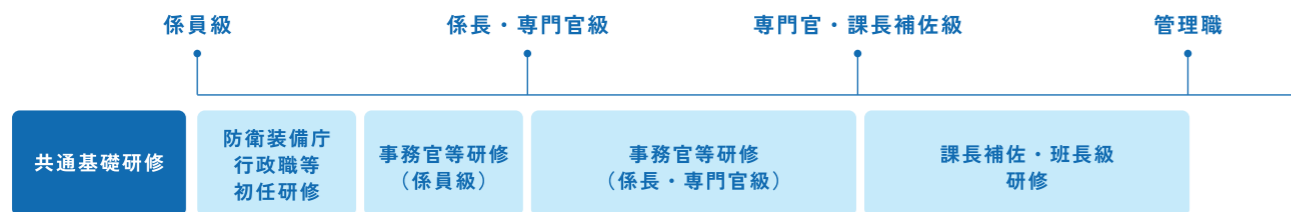
## Q7 プライベートの過ごし方は？



- 学食だけだった学生時代とは異なり、官舎生活で自炊がしやすい環境になったので、**週末はいろいろな料理に挑戦**しています！この前はロールキャベツを作りました。
- 休日は趣味の**カフェ巡り**を楽しんだり、好きなアーティストのコンサートに行ったり、遠方に旅行に出かけることもあります。
- 最近は**ドライブ**にハマっており、車で遠出することが多いです。
- 平日に早く帰れた時はジムに行ったり、**映画鑑賞**をして過ごしています。
- 退勤後は健康のため**ヨガ**に通っています。

## Administration 行政職

採用後は、ほぼ2～3年のサイクルで人事異動があります。基本的には防衛装備庁で勤務することになりますが、それだけでなく防衛省の様々な機関での勤務や地方勤務、場合によっては他省庁勤務や海外勤務の機会もあります。様々な経験を積み、視野を広げ管理職を目指していきます。



※採用時、防衛省合同初任研修も受講。

### 防衛装備庁行政職等初任研修

新規採用者が職員としての基礎知識や心構えを習得するための研修です。

<p>防衛省及び防衛装備庁の概要</p>	<p>部隊等現地研修</p>	<p>ビジネスマナー</p>	<p>メンタルヘルスマネジメント</p>
----------------------	----------------	----------------	----------------------

## Training 研修

採用後の業務の内容に応じて用意されている研修を紹介します。  
※あくまでも一例です。

<p><b>取得マネジメント研修</b></p> <p>プロジェクト管理に従事する職員・関係者を対象に“取得マネジメント”等に必要な知識・技能を習得するための研修です。</p>	<p>取得マネジメント基礎</p> <p>取得マネジメント応用Ⅰ</p> <p>取得マネジメント応用Ⅱ</p> <p>取得マネジメント実践</p>
<p><b>調達・会計研修</b></p> <p>調達・会計業務に従事する職員を対象に調達や物品管理、監督検査等に必要知識・技能を習得するための研修です。</p>	<p>調達初級/中級/上級</p> <p>簿記初級</p> <p>簿記中級</p> <p>防衛サプライヤー研修</p>
<p><b>国際関係研修</b></p> <p>海外勤務者や装備協力等業務に従事する職員等を対象に国際関係や貿易管理、語学等に関する知識・技能を習得するための研修です。</p>	<p>武器輸出管理制度</p> <p>レベル別実用英語</p> <p>英語(通訳技能)</p> <p>英語(ネゴシエーションスキル)</p>



Profile

デジタル庁(出向)  
統括官(戦略・組織グループ担当)付参事官付主査

2009年入庁

## 国民のニーズに応える安全かつ 利便性の高い行政サービスを提供する。

**第三者視点から常に持ちながら各プロジェクトを監理する。**

現在所属するデジタル庁の戦略・組織グループは、行政機関が推進する様々なデジタル行政サービスを支える情報システムの開発・運用等をサポートしています。私は、マイナンバーカードが持つ本人確認機能について利活用を図るためのサービスや公金受取口座登録システム、事業者手続整理システム、政府認証基盤といった複数のプロジェクト監理業務に従事しています。主に予算要求から執行段階を通じて、それぞれのプロジェクトについて、「必要性」「緊急性」「積算根拠の妥当性」「実現性」「費用対効果」といった観点に基づいたレビュー業務を行っております。また予算執行後は現場の声を聞きながらプロジェクトの進捗等を管理しています。

**国民生活に大きな影響を与える大きな責任と使命感を担う仕事。**

デジタル庁は、日々の国民生活と密接に関連する情報システムから行政機関の職員が業務で使用するものまで様々な情報システムの開発・運用等を所掌しており、「国民や行政機関等が現在の行政サービスに対してどのように感じているか、何を期待しているのか?」といった声をより身近に感じる機会が多くなりました。そして、安全かつ利便性の高い行政サービスを安定的に提供するために「自分が何をすべきなのか?」等について考え、発案し、実行して形にしていけることを常に心がけながら業務に努めています。まずは一つ一つの業務に丁寧に取り組みながら自己研鑽を重ね、将来的に防衛政策の立案・運用や研究開発事業の監理業務等を通じて様々な問題の解決に寄与したいと考えています。



### 出向前の業務は?

予算要求や財務省への説明、事業監理、業務計画、物品管理など行政官として研究開発プロジェクトを円滑に遂行できるようサポートする業務を担当しました。また、2021年からは防衛イノベーション科学技術研究所の前身となる部署で、連携管理班係員として安全保障技術研究推進制度の委託費執行管理等を担当しました。

### 入庁を志望する方へのメッセージ

行政官が担当する調達や調整業務は非常に重要なものであり、万が一ミスがあると大きなトラブルに発展することもありますので責任感を持ちながら一つ一つの業務について丁寧に取り組んでほしいです。一方で、助けが必要な時は一人で抱え込まず声を上げることも大切です。私自身も常に感謝の気持ちを持ちながら業務に臨むようにしています。

## 先輩職員からの就活アドバイス

防衛装備庁で働く先輩職員が、就職活動当時の経験や実務を通じて得た気づきをもとに、就活のポイントや、仕事のやりがいについて紹介します。

Advice 01

### 物事を幅広く見る力を身に付けてください。

長官官房／2024年入庁

社会に出ると多様なバックグラウンドを持つ方々との関わる機会が増えますが、そのような方々とコミュニケーションを取りながら業務を遂行するためには、相手の立場や考え方をよく理解することが何よりも大事です。日常生活の中で多様な方と接し、いろいろな価値観に触れることで、ぜひ幅広い視野を身に付けてください。

Advice 02

### 長期的な視点で自らの将来を考えてみては？

調達事業部／2025年入庁

自分の興味のある業界の話を開きつつも、広い視野を持ってあまり関心の持てない業界にも目を向けてほしいです。もし自分が何に向いているかわからない場合や、興味のある業界がない場合には、将来、どんな形で自分が活躍していきたいかを考えて、そこから逆算してみるのもおすすめです。

Advice 03

### 自分のやりたいことを発信するのも大事です。

プロジェクト管理部／2022年入庁

「やりたいこと」は心の中に留めておかず、積極的に周囲に話すことをおすすめします。私自身、誰かに話したことで新しいチャンスに気づけました。就職活動でも「自分には向いていないかも」と思わず、まずは声に出してみることで意外な道が開けるかもしれません。

Advice 04

### 迷った時は、原点に立ち返ってみる。

装備政策部／2021年入庁

世の中には多様な仕事があり、選択肢は無量大でどの仕事が自分に向いているのか、本当に自分がやりたい仕事は何なのか、人に話を聞いたり調べたりするほど迷う！といったことが多々あります。そんな時は幼少期や思春期の頃の夢に立ち返ってみることをおすすめします。

Advice 05

### キャリアを始めてからでも目標は見つかります。

調達管理部／2022年入庁

私は漠然と「国防に関わること」というイメージのみで入庁したため、当初は具体的な目標がありませんでした。しかし、入庁してから日本の防衛産業についての現状や幅広い業務を知ることで、今後自分がどう国防に貢献できるかより具体的なイメージをつかむことができました。

Advice 06

### 自分に合った業務に巡りあえることも。

技術戦略部／2025年入庁

防衛装備庁は多岐にわたる業務を所掌していますので、今自分がどのような業務を行いたいかわかるといっても、自分に合った業務に巡りあえるはず。就職で迷った時は周囲の先輩に相談するのも効果的。先輩方は多くのことを経験しており、解決策を見つけることができるかもしれません。

Advice 07

### 安心してやりがいのある仕事に取り組んでほしい。

調達事業部／2010年入庁

育児時間や休憩時間の短縮、テレワークなど利用できる制度がいろいろあります。また、希望すれば資格取得や英語などの研修も受けられるので、努力すれば成長が望めます。育児中であっても責任ある仕事を任せてもらえ、第一線で働くことができるのはモチベーションも高まりますし、やりがいがあります。

Advice 08

### 様々な人の話を聞くことでリアルを知ってください。

長官官房／2016年入庁

様々な人たちの考えや職場の現状を容易に聞けるのは就活生の時だけですので、ぜひ先輩などたくさんの方の話を聞いて視野を広げてほしいです。実は「やりたいこと」に携われるもっと良い条件の職場や職業があるかもしれませんし、仕事のリアリティを知ることができるはず。

Advice 09

### 試験合格に向けて万全な対策を。

研究所／2025年入庁

まずは国家公務員試験の一次試験を通らないことには何も始まらないため、しっかりと試験対策を行うことをおすすめします。特に私のように合否のボーダーラインにいると面接でも余計なプレッシャーがかかったりしてしまうため、余裕を持って一次試験を突破できるようにすることが良いと思います。頑張ってください！

## 各試験の採用予定区分

令和8年度採用予定者については、以下のとおりです。

国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）	「行政」※「行政」区分では、すべての採用区分の合格者から本省採用を行っております。
国家公務員採用一般職試験（高卒者試験）	「事務」
防衛省専門職採用試験	「英語」

## 採用実績

採用年度	大卒程度試験				高卒者試験	専門職試験
	行政	デジタル・電気・電子 行政職採用	機械 行政職採用	化学 行政職採用	事務	英語
令和4年度	25(10)	0	0	0	15(11)	0
令和5年度	17(6)	1(1)	1	0	12(8)	6
令和6年度	29(10)	0	0	0	6(4)	8(4)
令和7年度	26(6)	0(0)	0(0)	1(0)	6(2)	13(8)

※（ ）内は女性の人数で、内数。

## 主な勤務条件

採用時の給与は、採用される職務、経験、勤務地等によって異なります。

表は、新規卒業者で本庁（市ヶ谷地区）に勤務の場合（地域手当、本府省業務調整手当を含む。）

一般職（大卒程度）	行政職俸給表（-）1級25号俸の場合	287,600円
一般職（高卒者）	行政職俸給表（-）1級5号俸の場合	249,560円
防衛省専門職	行政職俸給表（-）1級25号俸の場合	287,600円

- 手当** 住居手当、通勤手当、扶養手当、超過勤務手当、期末・勤勉手当（いわゆるボーナス）等
- 勤務時間** 1日7時間45分（原則として土曜日、日曜日、祝祭日は休み）
- 休暇** 年20日の年次休暇（4月1日採用の場合、採用の年は15日）、病欠休暇、介護休暇、特別休暇（夏季、年末年始、結婚、忌引き、ボランティア等）があります。
- その他** 育児休暇、育児短時間勤務、早出遅出勤務、フレックスタイム制等の体制も整っており、多くの職員が活用しています。

## 採用スケジュール



詳細は人事院ホームページをご覧ください。